

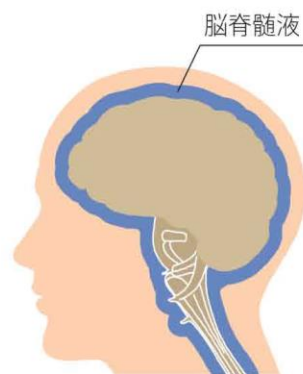
研究のための髄液検査に参加しませんか？

精神疾患の、より良い診断・治療法をみつけるため
脳脊髄液を分けていただける方を**募集**しています。



脳脊髄液とは？

脳脊髄液は、脳の周囲にたまっている液体で、毎日新たにつくられて古いものと置き換わっています。この液体には脳の成分が少し溶け込んでいます。脳の病気では、その病気に特徴的な成分が含まれていることがあり、髄膜炎等の診断に使われています。近年アルツハイマー病の早期診断に使えることも分かってきました。



何を研究するの？

統合失調症や気分障害などは、まだ原因が不明で、診断や治療は、医師との対話で行われております。もし、糖尿病や高血圧などのように客観的な検査で診断や評価ができれば、より早く正確に、一人一人の状態にあった治療ができ、副作用も減らせる可能性があります。そのような目印となるタンパク質を脳脊髄液で探すことが、本研究の目的です。原因となるタンパク質が分かったら根本的な治療法も生まれるかもしれません。



どんな検査？

脳脊髄液は図のように、腰から針を刺し、約12ml採取します。この量は通常の検査で採取する量と変わりません。通常、痛みは最初の針を刺すときだけで採血とあまり変わりませんが、検査後に一時的な頭痛が起こる方もいます。(所要1~2時間)

負担を軽減するため参加者には研究費より一万円相当のクオカードを差し上げております。



ご参加いただける方は、下記にご連絡ください

国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第三部
042-346-3520 (バイオバンク研究窓口)

窓口のスタッフに「髄液検査を希望」とお伝えください。
平日10:00~17:00にお電話ください。